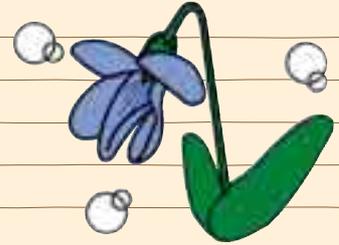


## IV-3 第二性徴にとまどう子どもに寄り添いましょう

小説: すみれはブルー

落合恵子 1991

自分の躰から、以前とは違った匂いが瞬間、立ちそうに思う。自分の躰がどこか生臭い。おかしいのは、ケイだけじゃない。私だって、と晶子は思う。なんとなく躰も心も重くだるい。躰が、自分の知らないところで勝手に変わっていく……。それが晶子の憂鬱だった。風呂上がり、晶子は裸のまま鏡の前に立つことがある。見たくないのに検分してしまう不快さがある。ふくらみはじめた乳房。丸みを帯びはじめた腰や下腹。なんだか不潔な気がして気持ち悪い。私が許可したわけでもないのに、躰だけ変わっていくなんて……。ついこの間まで、晶子は晶子の躰の女王だった。鉄棒の逆上がりも、跳び箱も木登りも、晶子の命ずるままに躰は動いた。いまは違う。あの面倒な生理。走ると揺れる乳房。すべてが、うっとうしい。



### Work①

初潮を迎えた晶子は、体の急激な変化をどのように思っているのでしょうか。  
あなたが初潮を迎えたときのことも思い出してみましよう。

### Work②

晶子の母親として晶子の思いを知ったら、  
あなたはどのようにしますか？



## Work③

第二性徴を迎えた男の子の体の変化には、「夢精」があります。息子の布団を干そうとしたとき、汚れたパンツが出てきました。あなたならどうしますか。

## Work④

Work①から③についてグループで話し合ってみましょう。

## 資料

\* 表 性的成熟の現れに対する心理的受容度 \*

数字はすべて%

| 心理的受容度                   | 男子   |       |      | 女子    |       |      |
|--------------------------|------|-------|------|-------|-------|------|
|                          | 変声   | 恥毛の発毛 | 精通   | 乳房の発達 | 恥毛の発毛 | 初潮   |
| 大人になれて、とてもうれしかった         | 2.9  | 4.4   | 2.5  | 11.6  | 7.0   | 15.7 |
| 大人になる上で当たり前だと思った         | 26.1 | 37.8  | 47.5 | 17.4  | 15.5  | 20.0 |
| 別に何とも思わなかった              | 56.5 | 34.4  | 30.0 | 58.0  | 38.0  | 18.6 |
| 嫌だったが、仕方ないと思った           | 10.1 | 18.9  | 12.5 | 11.6  | 31.0  | 38.6 |
| とても嫌で、出きればそうなってほしくないと思った | 4.3  | 4.4   | 7.5  | 1.4   | 8.5   | 7.1  |

【引用：齋藤誠一 1990「思春期の身体発育が心理的側面に及ぼす効果について」青年心理学研究会1989年研究大会発表資料】

## アドバイス

第二性徴の受け止め方は、子どもによって様々です。すんなりと受け入れていくことのできる子どももいますが、一方で大きな困難さを感じる子どももいます。自分の体の急激な変化を通して、周りの人間関係や物事に対するとらえ方も大きく変わっていきます。感情の揺れ動きも激しくなり、自分の世界に閉じこもることもあります。

また、第二性徴の起こるタイミングがほかの子に比べて早い、遅いという違いも、受け止め方の違いにつながります。

自分の性を引き受けていくのは大変な仕事です。第二性徴経験者の先輩として、温かくサポートしていきたいですね。

